

会報 SHINSHIYOU



神私幼

平成22年12月1日

第174号

(昭和29年7月10日創刊)

発行:(社)神奈川県私立幼稚園連合会
 発行人:会長 渡邊 真一
 編集人:神私幼総務部(広報室)
 発行:年4回(6月・9月・12月・3月)
 発行部数:1700部

<http://www.shinshiyou.com>〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F
TEL. 045 (440) 3210 FAX. 045 (440) 3209

社団法人神奈川県私立幼稚園連合会



2・3 会長のことば

かながわようちえん会館の有効活用

●幼稚園連合会会長 渡邊 真一

関東地区代表者協議会 群馬大会報告

私立幼稚園の生き残りをかけて

●振興部長 山田 誠一

6・7 平成22年度 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 研修大会

あした笑顔になあれ

●神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 副会長 巽 加代子

教育相談事業報告 共感めざして 鈴木敦子

Pride of KANAGAWA

4・5 研究部 研究講座1 教育

幼児期の学びについて考える

第26回 全日本私立幼稚園連合会 設置者・園長全国研修大会

最後の新規採用教員研修会 ●研究部次長 高 方子
A部会活動報告 ●田名幼稚園 永保貴章

地区協会の研究活動

川崎市幼稚園協会／鎌倉私立幼稚園協会

8

研修会報告
新規加盟園情報

研修会レポート

人材確保研修会

仕事と生活の調和…

WLB(ワーク・ライフ・バランス)の実現に向けて

かながわようちえん会館の有効活用

2010年12月1日

新会館に引っ越してまもなく一年を迎えます。新しい建物のにおいが消えて、三団体が生活するおおいに変わつてきました。ようやく「かながわようちえん会館」が機能してきたという実感を感じますし、新会館運営のリズムが見えてきました。当初心配された会議室の利用も三団体の調整の元、順調に機能しているところです。日によつてはすべての会議室が研修・研究会・部会などで全日いつぱいになり、県連の会議を県民センターで開催することもありました。うれしいことです。

今年度の利用状況を見つつ来年度の会館使用の方向づけがはつきりしていくものと思われます。

さて今後の動きですが、二十二年度は初年度でもあり、会館利用について手探りの状況でしたが、二十三年度は会館の利用方法を確立したいと考えます。具体例をあげますと……

① 研究室の復活です。すでに看板は掲げましたが研究室のしくみをどの様にしたらよいか、研究部にて検討してもらっています。当面は十二協会の研修、研究活動と研究部の活動資料の収拾からスタートするのかな……

と考えます。又、以前からの研究部財産である書物や多種類の資料の整理をしなければなりません。更にはめまぐらしく変化する時代のなか、今後の研修・研究活動はどうあるべきか、重い課題でもあります。

研究部は県連活動の要であり、会員に討議されました。

関東地区代表者協議会 群馬大会報告 私立幼稚園の生き残りをかけて



振興部長 山田 誠一



十一月十日、十一日、群馬県高崎市において関東地区代表者協議会が開催されました。「私立幼稚園の生き残りをかけて」私立幼稚園の起死回生策を模索するの協議会テーマのもと、関東地区会、神奈川地区会（開催地区を除いて各県十名程）の園長先生や各県私学行政担当者が参加され、熱心に討議されました。

開会式には、地元群馬県の大澤知事を始め県議会議長、総務部部長他ご来賓が多数参加されました。

続いて研修Ⅰでは、元ソフトボール日本代表監督宇都木妙子さんの講演「夢と人生」。体験談を交えつつ、夢を持つことの大切さを話され、参加者の琴線に訴える話の内容には感動を感じました。

研修Ⅱ①では、日本教育再生機構理事長、高崎経済大学教授八木秀次先生の講

園や各地域活動に直接つながる役割を担っていますので、ご苦労をおかけしますが今期（平成二十四年三月）中には、めどをたててほしいと念じております。

キッズコーナーの運用

と廊下をギヤラリーとする絵画の展示です。キッズコーナーについてはすでに絵本、遊具、教具など取りそろえています。具体的な運用については総務部にて検討中です。キッズコーナーは近隣住宅に案内をし、利用していただける方策を立てます。そして職員配置も一人（事務局員）つけ、地域の子育て中の親子が安心して遊べるコーナーにしたい、これが会館設立の願いの一つです。ぜひとも二十三年度スタートしたい！ なお横浜ポートサイドプレイスには入園対象児を含む新児家庭が多いこともあり、実現することを願っております。

前回の神私幼ニュースでもふれ

ましたが、横浜ポートサイドプレイスは住宅棟と業務棟から成り立つ集合住宅群です。ようちえん会館は業務棟にあります。この両棟を管理する県連会長は管理組合理事（会計担当）、

施設部会委員を担当しますが、何分に

も今後、管理組合との協調と連携が求められます。

④ そして最大の課題は前回のニュースでもふれましたが、「連合会組織（事務局を含む）機能の見直しをこの機会に一つ一つ部会ごとにお願いしたいと考えます。公益法人制度改革については特別委員会が再びはじまりました。年度内には方向性を見い出してくれるものと確信しております。

連合会組織機能の見直しと公益法人制度改革はセットで検討できるよい機会であります。

⑤ 「教育相談事業」が順調に動き出したました。六月より協会及び加盟園から多数のご要望を受け実施してまいりましたが、この度、保護者の方々への相談体制が整い、保護者向

けの相談事業を開始する旨の案内を出しました。ご利用方、保護者にお知らせください。なお本業務は現在総務部の取り扱いとなっております。

⑥ そのほか余裕があれば、人材バンクの設置（有資格者の登録・県民対象）、親子ふれあい事業（絵本

会

であります。

制度

改革はセットで検討できるよい機

研究部

研究講座1 教育

平成22年10月25・26日 開催
第26回 全日本私立幼稚園連合会 設置者・園長全国研修大会

パネリスト

安家周一先生 (財)全日本私立幼稚園児童教育研究機構副理事長
黒田秀樹先生 全日本私立幼稚園連合会教育研究副委員長
木下光二先生 鳴門教育大学大学院准教授

コーディネーター 東重満先生 全日本私立幼稚園連合会教育研究委員長
●全日本私立幼稚園連合会教育研究委員長

私立幼稚園の多様な実践を踏まえ、現在の日本における幼児の育つ環境を直視し、保育実践の現場の立場で、幼稚園の保障るべき学びの在り方について、三人のパネリストにより考察されました。

幼児期の学びについて考えるにあたり、コンピューター時代・グローバル

時代において二十一世紀における「日本人」としてのかしこさについて考えが示されました。現代におけるかしこさとは、情報処理能力に秀れた存在ではなく、人と上手に交わる力を備え、コミュニケーション力をもつ存在であるといえます。

最後の新規採用教員研修会



研究部次長 高 方子

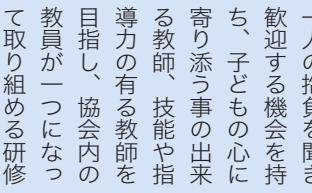


A部会活動報告

田名幼稚園 永保貴章

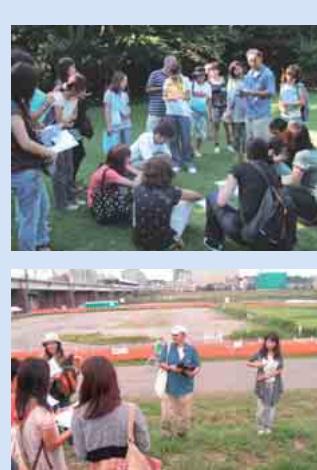
今年度からスタートした研究特別委員会A部会は、「幼児理解『語りあい 支えあい 高めあう保育』」と題して、保育記録（文章、写真、映像等）を持ち寄りながら、テーマとして毎月一回、鎌倉女子大学准教授佐藤康富先生の指導のもと研究を進めています。参加者が持ち寄った映像等の保育記録を他の参加者と分かち合い、「ミニ職員会議」を合言葉に気づきの語り合いによって保育記録に新たな視点を発見していくことがあります。そしてこれを繰り

返すことで、幼児理解をより深めていくことを研究の手段としています。参加者が自身が幼児理解を深めることだけでなく、A部会での語り合いの手法が参加者の所属園にフィードバックされ各園の職員会議をより豊かにできれば、とう願意があります。下半期には、持ち寄られる保育記録の語り合いのほかに、上半期に発表された保育記録をフォローすることによって、中長期的な幼児の育ちの理解にもつなげたいと考えています。



加盟園教員の資質の向上を目指して

研究部長 吉川 久美子(材木座幼稚園)



当協会の研究部は、部長・副部長と主任教諭四名の部員による六名で構成されています。一年間の活動内容は、主任会での意見を参考に部会で話し合い、加盟園の教員の資質の向上を目指し決めています。

研修会は、全体会と主任会、分科会を行っています。毎回九割を越す出席者がおり、また、加盟園で『研修ハンドブック』を携帯し熱心に研修を取り組んでいます。全体会では講演を聞いて学びを深める研修を行っています。特に年度初めには、講演会に加え、新規採用者一人

の抱負を聞き、歓迎する機会を持ち、子どもの心に寄り添う事の出来

る教師、技能や指導力の有る教師を自指し、協会内の教員が一つになつて取り組める研修

地区協会の研究活動

川崎市幼稚園協会の特色ある取組

川崎市幼稚園協会 研修部長 村田 清一(梶ヶ谷幼稚園)

この冊子を元に自然あそびの研修を積み重ねています。さらに今年度は国際会議CBD/COP10の関連として川崎市で行われる「生物多様性フォーラム」への事例報告も行う予定です。

このような観点のもと、小学校教育と幼稚園教育の違いについて再考し、幼児期の学びについて考えた場合に見えてくるのが、「何」を「どのように」行うのかを決定する主体者の違いです。『内容をいかに学ばせるか』という小学校教育の主体と『子どもが学んだことそのものが内容である』という幼稚

園教育の主体には明確な違いがあらわれています。また、幼稚園側はその内容が小学校教育に直結していると認識していますが、小学校側にはその認識が乏しい。幼・保の一体化が進むにあたり、幼稚園は教育内容を確保すると同時に、保育の可視化や情報発信の責任を問われています。

一つの人生において、大学以降の六年間をいかに豊かに過ごすかの原点(本当の知恵・かしこさ)が幼児教育にあるという認識で講座は締められました。

文責・亀ヶ谷 忠宏



会になるよう努めています。また、夏休み期間には三分科会に別れ研修を行っています。自然・音楽・造形・表現など毎回さまざまな分野の専門の講師を招き、理論や技術、また日々の保育にすぐに役立つヒントなどを学ぶ、一日を使っての中身の濃い分科会となっています。

さらに、市・地区・県等の研修大会における提案や研究発表の担当園には情報の提供など必要なサポートを行い、各園の研究の手助けとなるよう努めています。

祝 Pride of KANAGAWA

平成22年度 神奈川県私立学校教育功労者表彰

神奈川県私立学校教育者表彰要綱に基づく平成22年度教育功労者表彰の受賞者が決定し、平成22年11月30日(火)神奈川県庁新庁舎において表彰式が行われました。今年度の受賞者は下記のとおりです。おめでとうございます。



学校法人一翠学園
池辺白ゆり幼稚園
(横浜市)
吉原 久雄 先生
(理事長・園長)



学校法人亀ヶ谷学園
宮前幼稚園
(川崎市)
亀ヶ谷 忠男 先生
(理事長)



学校法人明和学園
綾西幼稚園
(綾瀬市)
古郡 孔文 先生
(理事長・園長)

解説 教育功労者表彰は、私立学校教育の振興を図るため、知事所轄の私立学校的教職員、校長園長、理事長及び設置者として、他の模範となる特に顕著な功績をあげた者を表彰することを目的としています。校長園長、理事長及び設置者等においては、私立学校の充実、振興のために献身的に尽力し、その功績が特に顕著であり、神奈川県内の私学歴が25年以上の方を対象としています。

秋の叙勲受賞



学校法人 横浜赤穂学園
森が丘幼稚園(横浜市)
安藤 茂男 先生(理事長)

平成22年11月3日付けで発表され、学校法人横浜赤穂学園 森が丘幼稚園 理事長 安藤茂男先生が瑞宝双光章を受章されました。おめでとうございます。叙勲は、国家又は公共のために功労のあった方を対象に発令されます。

解説 「瑞宝双光章とは」 国および地方公共団体の公務または公共的な義務に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた方に贈られます。

平成22年度 交通安全優良学校表彰

学校法人 杉並学園 虹ヶ丘幼稚園(相模原市)

平成22年度 神奈川県学校保健功労者表彰

学校法人 慶泉学園 さくら幼稚園(海老名市)
歯科医 青木 啓次 先生

共感めざして

教育相談事業報告



教育相談員
鈴木敦子



お天気はあいにくの雨模様でしたが、会場には県内各地よりたくさんのお会員の皆様に足を運んでいただきました。開会式では、主催者挨拶に続き、お忙しい中会場まで駆けつけてくださった神奈川県知事・松沢成文様、県民企業常任委員長・嶋村ただし様、県議会議員・新堀典彦様、梅沢裕之様、小野寺慎一郎様に御挨拶を頂きました。

私たちの子育てには多くの方々からの御協力を頂いているのだと、改めて感謝をしなければならないと思いました。

開会式が終わると夜回り先生こと水谷修先生の講演の始まりです。演題は「あしたの笑顔になあれ」夜回り先生からのメッセージ。子ども達に近い場所で子ども達のこころの声を聞いている先生の言葉はひとつひとつがとても力強く私たちのこころにも響いてきます。

先生のお話を聞いていると、まだま



平成22年度 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 研修大会

あした笑顔になあれ 夜回り先生からのメッセージ

10月28日 パシフィコ横浜

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会

副会長 翼 加代子



ここにちは。四月から教育相談を担当している鈴木敦子です。これまで相談や研修会の講師などでいくつかの幼稚園へ伺いました。どの園の先生方もとても一生懸命。子どもにとってどのような保育が良いのか、この点を真剣に考えていました。そして今、先生方の最も悩みどころのひとつが発達障害の子どもにどう接したらよいのか、集団の中でどう対処すればいいのかということでは、どうぞ参考にしてください。

先生方が出会った子ども達の話もしてくださりました。その子ども達の事に思いをはせると胸が締め付けられるよ

うで涙が止まりませんでした。そして、先生が伝えたいことは何なのかというのだと感じさせられました。

親はどうあるべきなのか、子ども達の命をひとつでも失わないようになります。子どもができることは何なのか。子ども達の中に大人ができるとは何なのか。日本の中でも心の安らぐ場所に子ども達が見えていたのです。泽山褒めることによって自己肯定ができるようになります。子ども達が前で夫婦喧嘩しているのか?子ども達にからだを使つた遊びをたくさんさせていますか?先生の間いかけに自分の子育てを振り返ります。泽山褒めることによって自己肯定ができるようになります。子どもの前で大好きな両親がけんかしてののしあうことなどが子どものこころをどうにかしてしまったのか。昼に体を使つていないと夜寝れなくなり心身分离、夜の世界に近づいてしまいます。

頭で分かってはいてもつい…といふことは誰にでもあるのではないかと思っています。

先生が出会った子ども達の話もしてくださりました。その子ども達の事に思いをはせると胸が締め付けられるよ

親はどうあるべきなのか、子ども達の命をひとつでも失わないようになります。日本の中でも心の安らぐ場所に子ども達が見えていたのです。泽山褒めることによって自己肯定ができるようになります。子どもの前で大好きな両親がけんかしてののしあうことなどが子どものこころをどうにかしてしまったのか。昼に体を使つていないと夜寝れなくなり心身分离、夜の世界に近づいてしまいます。

頭で分かってはいてもつい…といふことは誰にでもあるのではないかと思っています。

私達のまだ幼い子どもたちがその年の年になつた時に、癒しを求めることがであります。泽山褒めることによって自己肯定ができるようになります。日本の中でも心の安らぐ場所に子ども達が見えていたのです。泽山褒めることによって自己肯定ができるようになります。子どもの前で大好きな両親がけんかしてののしあうことなどが子どものこころをどうにかしてしまったのか。昼に体を使つていないと夜寝れなくなり心身分离、夜の世界に近づいてしまいます。

頭で分かってはいてもつい…といふことは誰にでもあるのではないかと思っています。

親はどうあるべきなのか、子ども達の命をひとつでも失わないようになります。日本の中でも心の安らぐ場所に子ども達が見えていたのです。泽山褒めることによって自己肯定ができるようになります。子どもの前で大好きな両親がけんかしてののしあうことなどが子どものこころをどうにかしてしまったのか。昼に体を使つていないと夜寝れなくなり心身分离、夜の世界に近づいてしまいます。

頭で分かってはいてもつい…といふことは誰にでもあるのではないかと思っています。

私達のまだ幼い子どもたちがその年の年になつた時に、癒しを求めることがであります。泽山褒めることによって自己肯定ができるようになります。日本の中でも心の安らぐ場所に子ども達が見えていたのです。泽山褒めることによって自己肯定ができるようになります。子どもの前で大好きな両親がけんかしてののしあうことなどが子どものこころをどうにかしてしまったのか。昼に体を使つていないと夜寝れなくなり心身分离、夜の世界に近づいてしまいます。

頭で分かってはいてもつい…といふことは誰にでもあるのではないかと思っています。

